

令和5年度 第1回 裾野市中小企業等振興推進会議 議事録

日時 令和5年8月 22日(火)

13:30~15:15

会場 裾野市役所 402 会議室

出席委員:8名(土屋浩三、堀口綾子、西島隆彦(自己紹介後退席)、荻島昭章、近藤眞臣、
岩崎健司、和田智之、福澤義明)

欠席委員:4名(中川好大、渡邊昌志、石黒貴正、室伏ゆり江)

議長:土屋浩三委員 副議長:西島隆彦委員

<配布資料>

別添のとおり

<会議内容>

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3. 市長挨拶

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使途について要望等もあるが、中小企業等振興条例は本来コロナでなくても広く地域振興を行っていくことに対し協議していくべき場と考える。

・企業誘致に力を入れている中で、地元の中小企業との連携を強くすること等の要望もしていく。

・工場立地適正化調査を始めている。

・これらの動きは中小企業の振興に繋がっていく取組みだと考えている。

・中小企業としてこの地域でどのようなことをやっていきたいのか。事務局にも商工担当があるが、市の支援は遅れていると感じている。

・ニーズを把握し、施策を実施していく動きが市役所として足りていない。

・ぜひ、この会議で経済政策に繋がっていく内容を議論していきたい。

4. 議長挨拶

- ・市長の話を受け、責任重大であると感じた。
- ・自助努力はもちろんしていく中で、足りないところのフォローをお願いしたい。

5. 自己紹介

6. 議事

(1) 報告事項

- ① 令和4年度 市の中小企業等振興策(事業評価)について【資料1、2】
 - ・事務局説明
 - ・意見、質疑なし
- ② 令和5年度の事業について【資料3、4】
 - ・事務局説明
 - ・意見、質疑なし

(2) 協議事項

- ① 令和4年度中小企業等振興推進会議 要望書の回答について【資料5】

- ・事務局説明
- ・協議内容

(事務局)

次年度に予算化できるよう協議いただきたい。

(A 委員)

回答が検討、調整ばかりで、回答と言えるのか？具体的なスケジュールなどを示すべきではないか。

(事務局)

手厳しい意見として受け止める。市の予算に限りがある中での回答となったことをご理解いただきたい。国、県、金融機関の力を借りながら、今ある補助制度などを活用した支援をしていきたい。回答は抽象的にならないよう努めたい。市の来年度の予算要求は、庁内の取りまとめが10月頃から始まるため、それまでにはまとめたい。

(A 委員)

そのスケジュールに間に合うよう努めてほしい。市の予算を中小企業支援に確保してもらいたい。

(議長)

事務局として、市の来年度の予算要求に向けて前向きに検討してもらいたい。

(B委員)

実際に予算化できる事業はどれくらいあるのか。1つでも多く事業を実現してもらいたい。

(事務局)

具体的な支援の金額などが要望に示されておらず、検討しにくいところもある。具体的な数値があると、事務局も検討しやすい。

(B委員)

裾野市でも事業者向けに物価高騰支援(一律3万円や5万円の支援)をやってもらえないか。

(議長)

トラックやバスに対する支援は、協会からの要望があって実施したのか。

(事務局)

そのとおり。

(議長)

小山町など、近隣市町の状況も参考に事務局で検討いただきたい。

(C委員)

人材不足、原材料の物価高騰を強く感じる。中小企業ほど命取りになる。お店でタブレットを導入したが人材不足解消に繋がった。副業人材のマッチングも良いと思うが、ITの推進が重要だと感じる。生産性の向上に繋がるため、市として積極的に発信してもらいたい。物価高騰に対する支援はスピード感をもってほしい。補助金などの支援は、周知をしっかりとしないと知らない人がいる。広報による周知は予算がなくても出来ることなので、SNSの発信など積極的にお願いしたい。

(D委員)

金融機関の立場で中小企業へ話を聞くと、人材不足は1番にされる話である。IT化の推進によって解消される部分もあると思う。事業承継に関しては、健全に行われるような流れを作る必要があるだろう。要望はよくまとまっていると思うが、プライオリティ化されていないため重要事項が分からない。総合計画に基づく事業評価の指標は問題がないのか。そのあたり、施策が進んでいない原因となっているように感じる。

(E委員)

人材確保に関するセミナーや、経営革新のお手伝いを実施している。専門

職では人手不足の課題もあり、役に立つような情報提供をしていく。商工会で事業承継に関するセミナーをやっていると思うが？

(B委員)

IT化、終活に関するセミナーなども予定している。

(E委員)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、三島市で電気料のR3年度とR4年度の差額を工場等へ支援する施策を見たが、知らない事業者もいた。周知についてはしっかりやった方が良い。

(議長)

E委員は、他市町の会議にも出るということでまた情報をいただきたい。

(A委員)

セミナーを受ける人の年齢は？セミナーは中小企業の存続に必要だと思うため、30～40代くらいの人に受けてもらうべきだと思う。

(議長)

セミナーも増えてきており、繰り返しやっている。参加料も無料で、DM等を活用して周知している。

(A委員)

広報無線でも周知してほしい。幅広い周知を。

② 中小企業等振興に係る各種施策の集約化について

・事務局説明

振興推進会議に所属する中小企業等支援機関の各種施策を集約化して冊子を作成することを提案

・協議内容

(A委員)

集約化にあたり、市として実現可能な施策を吟味していただきたい。

(D委員)

金融機関として市町で施策を変えているわけではないため、御殿場市と同じような内容にはなってしまうが、制度を知ってもらう機会としては良いと思う。

(議長)

集約化については進めていただきたい。関係委員におかれてはご協力いただきたい。

(3)情報交換

(B委員)

10月にフェスタすそのを開催予定。昨年は1万8千人の来場があった。より多くの市民に来てもらえるように企画している。

(C委員)

インスタグラムの活用方法についてのセミナーが、この会議の前にあった。非常に良い先生だった。受けた直後はテンションが上がるが、継続していくこと、いかに活用していくかが大切だと思う。

7. その他

- ・次回振興推進会議の予定等
- ・10月末を予定、日程調整は今後

8. 閉会